

# 令和4年度学校自己評価システムシート (県立庄和高等学校)

目指す学校像	生徒の個性を伸ばし、質の高い多様な進路を実現させる学校
--------	-----------------------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>きめ細かい進路指導を通して、個々の希望進路の実現に向け粘り強く取り組ませる。</li> <li>工夫された授業を通して、主体的に学習する態度と進路実現のための真の学力を身につけさせる。</li> <li>社会性や協調性を身につけ、より高い目標にチャレンジできるたくましい精神を育む。</li> <li>開かれた学校づくりを推進するとともに、庄和高校の魅力が伝わるように情報発信する。</li> </ol>
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	7名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	5名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年度評価 (2月1日現在)	
年 度 目 標					年度評価 (2月1日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職希望者全員が第1志望に内定を得た。</li> <li>進学希望者に対しては各教科と、就職希望者に対しては就職支援アドバイザーとの連携がなされている。</li> <li>主体的に進路活動を行い、意欲的に挑戦する生徒の育成が課題である。</li> </ul>	進路指導行事を改善し、自己理解・職業理解をさせる。	①「主体的に考える力」を養う進路指導行事を企画・運営する。	①自己理解・職業理解に基づき「主体的に考える力」を育成できたか。	進路指導行事の改善に向けた取組について、ほぼ目標が達成できた。 ①各学年において適切な時期に進路行事を設定し、実施した。特に、第1学年では行事の実施方法を改善し、生徒の理解を深めることができた。	A
		主体的に進路活動を行う意識を向上させる。	①朝学習や表現トレーニングを継続することで主体的に進路活動を行う生徒数を増加させる。	①生徒自ら進路選択し、満足できる進路活動を行うことができたか。(進路希望調査・進路満足度調査)	主体的な進路意識の向上について、概ね目標を達成できた。 ①生徒アンケートにおいて、進路実現に向けて主体的に行動できた生徒が約92%	B
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業はプロジェクトなどの「ICT」を活用している。</li> <li>「ICT」の有効的な活用によるアクティブラーニングの推進が期待されている。</li> <li>教員相互に授業見学を行うなど教科指導力向上のための意識は醸成されている。</li> <li>家庭学習習慣の定着が大きな課題である。</li> </ul>	教員の授業力を向上させる。	①教員相互による授業見学を推進し、ICTを活用した授業研究を行う。 ②ラーニングコモンズの活用を推進するための環境整備を行う。	①授業公開週を年2回以上実施し、研究協議を踏まえ授業改善ができたか。 ②ラーニングコモンズの授業等での使用回数が増加したか。	教員の授業力向上に向けた取組について、概ね目標を達成できた。 ①特に11月は教科横断のグループにおいて研究授業を実施した。 ②ラーニングコモンズの利用は昨年度と同程度であったが、教室において様々な手法でアクティブラーニングの授業が実施されていた。	B
		家庭学習時間を増加させる。	①昨年度3学期に実施した平日課題の取り組みを学校全体で行う。	①家庭学習の時間が増加したか。(生徒アンケート調査)	授業以外での学習習慣の確立について、概ね目標を達成できた。 ①平日の家庭学習の平均時間は約26分であり、昨年度と同程度であった。	B
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止対策の制限がある中でも学校行事は工夫することで概ね実施することができた。</li> <li>学校行事等に主体的に取り組んだ生徒は約97%だった。</li> <li>部活動の活性化が課題である。(昨年度加入率85.9%)</li> </ul>	学校行事や部活動に主体的に取り組ませることで、社会性や協調性などを身につけさせる。	①生徒が主体的に参加する「学校行事・学年行事」を企画・運営する。 ②部活動を通して「チャレンジする精神」を育む。	①生徒が主体的に「学校行事・学年行事」に参加できたか。(生徒アンケート調査) ②部活動未加入生徒に対して個別指導を通して部活動以外で活躍することを含めた指導を実施できたか。(部活動活動状況調査)	学校行事や部活動に対する取り組みについて、ほぼ目標を達成できた。 ①体育祭や文化祭では、生徒の意見を取り入れながら新たな取組を実施。生徒アンケートでは、学校行事等に主体的に取り組んだ生徒は約96%。 ②部活動加入状況調査を定期的実施し、未加入の生徒の状況を把握し、個別に指導した。生徒アンケートでは、部活動に積極的に参加した生徒は約78%。	A
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえ、学校説明会、個別説明会、部活体験を実施した。</li> <li>学校ホームページの更新回数は437回(4月から12月)だった。</li> <li>本校の魅力を発信する取り組みの工夫以外に、学校外での生徒の規範意識を高めることが課題である。</li> </ul>	本校生徒が活躍する姿を情報発信する。	①学校説明会、個別説明会、部活動体験において、生徒の活躍の場を増やす。 ②春日部東ブロックの小・中学校や地域との交流事業の実施及び地域の行事へ生徒を参加させる。 ③学校ホームページの更新による積極的な情報発信をする。	①生徒の協力者数、生徒の活躍する場面を増やすことができたか。 ②交流事業参加者数及び地域の行事への参加者数 ③学校ホームページの更新回数	本校に関する情報発信について、ほぼ目標を達成できた。 ①学校説明会3回、個別説明会2回、部活動体験3日間を実施した。受付・誘導だけでなく、生徒による学校案内を実施した。 ②春日部東ブロックの小中学校との連携は授業公開のみ実施した。地域との連携では、吹奏楽部が産業祭に参加、美術部が駅前イルミネーションに参加、合唱部が地域のイベントに参加した。 ③学校ホームページへの更新回数は256回(4月から12月)。アクセス数の1日平均は約1234回	A

学校関係者評価	実施日 令和5年2月7日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の意向にあったアドバイスがなされている。</li> <li>進学希望が未定である生徒に対して、いかに主体性を養うかが課題である。</li> <li>職業ガイダンスを1年次から取り入れている学校もあるため、参考にはいかがか。</li> <li>小中学校においてもICTは活用されている。リモート授業が主ではあるが、今後の活用方法についてはさらに研究が必要である。</li> <li>大学生・社会人ではパソコンが必須であるため、スマホしか使えないということにならないよう、タブレットやパソコンの使い方の指導も必要である。</li> <li>朝学習の取り組みは非常によいことである。</li> <li>文化祭や体育祭を公開することができたため、生徒がよく頑張っている様子を見ることができた。来年度以降も少しずつ多くの方に来校の機会があるとよい。</li> <li>部活動に積極的に参加した生徒が約78%であることは評価できる。</li> <li>庄和高校に興味を持っていない人はHPも見ないため、良さを一般の方に伝えることは非常に難しい。そのため、少しでも興味を持たせ方に魅力を伝え、いい印象を与えられるかが重要である。</li> <li>HPのアクセス数や更新数だけで評価することは難しい。</li> <li>春日部東ブロックの小中学校との連携は、教員同士だけでなく生徒の交流ができればよい。</li> </ul>